

令和2年度 学校関係者評価 報告書

令和2年12月

いわき市医療センター看護専門学校

【目次】

1 学校関係者評価の概要と実施状況

- (1) 学校関係者評価の目的
- (2) 学校関係者評価委員
- (3) 学校関係者評価委員会の開催
- (4) 学校関係者評価方法

2 学校関係者評価の評価結果と内容

- (1) カテゴリーⅠ 学校経営
- (2) カテゴリーⅡ 教育課程・教育活動
- (3) カテゴリーⅢ 入学・卒業対策
- (4) カテゴリーⅣ 学生生活への支援
- (5) カテゴリーⅤ 管理運営・財政
- (6) カテゴリーⅥ 施設設備
- (7) カテゴリーⅦ 教職員の育成
- (8) カテゴリーⅧ 広報
- (9) カテゴリーⅨ 地域との連携

1 学校関係者評価の概要と実施状況

(1) 学校関係者評価の目的

- ① 実習指導者、同窓会等卒業生、看護師養成所教員経験者、母体病院職員等の学校関係者が、本校の自己評価の結果を評価することで、その客観性・透明性を高める。
- ② 学校関係者評価により、本校の学校運営や教育活動等の課題を明確にし継続的な改善を図る。
- ③ 学校関係者評価は、本校の自己評価を基に、「いわき市医療センター看護専門学校学校関係者評価委員会運営要綱」に則り実施する。

(2) 学校関係者評価委員

- ① 任期 令和2年7月2日から令和3年3月31日
- ② 委員名簿

氏名	区 分
四家 紀子	学生指導協議会の委員
坂本 美智子	専門学校同窓会の会員
寺田 真紀子	専門学校の卒業生
泉 晶子	大学又は看護師養成所において教員としての勤務経験を有するもの
杉野 剛	いわき市医療センター事務局の職員

(3) 学校関係者評価委員会の開催

- 第1回委員会 日時： 令和2年7月2日 13:30～15:30
場所： 本校2階会議室
内容： 委嘱状交付
学校関係者評価委員会の概要説明
令和元年度自己評価結果の説明
授業見学、施設案内
第2回委員会の概要説明
委員長、副委員長の選出
- 第2回委員会 日時： 令和2年9月29日 13:30～14:30
場所： 本校2階会議室
内容： 自己評価結果の評価結果
意見交換、提案等
まとめ

(4) 学校関係者評価方法

- ① 自己評価結果について、「適正」か「不適正」の評価をする。
- ② 評価事項、評価内容、その他学校運営等について改善の意見提案を行う。

2 学校関係者評価の評価結果と内容

※ 評価結果 の用語について

「自己評価の平均」とは

⇒ 看護専門学校職員が、カテゴリー別の評価事項について5段階で自己評価したものの平均の数値

- 5： できている
- 4： ややできている
- 3： 普通
- 2： ややできていない
- 1： できていない

「学校関係者評価の結果」とは

⇒ 看護専門学校の教職員による自己評価の結果が、「適正」なのか「不適正」なのかを学校関係者評価委員（5人）が評価した結果

(1) カテゴリーⅠ 学校経営

評価結果

自己評価の平均

4.46

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 年度末に全教員参加での分析から、次年度目標を設定しており、共通理解で運営されている。また、目標管理を導入し、年3回面接評価により支援が受けられる環境になっている。
- ・ 医療センター看護専門学校条例や医療センター看護専門学校学則等、関係規定を遵守し、適正に学校運営が行われており、学校内部の事務並びに意思決定等についても、市病院事業分課規程や市病院事業職務権限規程等の諸規定に基づき、適正に進められている。
- ・ 学校職員が母体病院の感染管理委員会や医療安全委員会等に委員として参画し、その円滑な運営にも寄与する一方、医療現場におけるニーズ等を適切に学校運営へ反映させるなど、母体病院の一機関として適切に機能している。
- ・ 運営評価については、自己評価のみならず学校関係者評価の導入により、より多角的に運営の検討がなされている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(2) カテゴリーⅡ 教育課程・教育活動

評価結果

自己評価の平均

4.44

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 臨地実習では学校と実習施設側との連携がなされている。学生指導協議会、臨地実習指導者会議、臨地実習授業評価検討会が定期的開催され、情報共有・問題点・課題の対策が検討されている。
- ・ 実習指導要項が毎年見直され、実習施設で共有できている。実習指導者と担当教員で実習グループ毎に事前打ち合わせや終了時の反省会が行われており、学生による臨地実習他者評価結果も現場にフィードバックされている。
- ・ シラバスの書式が統一されわかりやすくなっている。昨年度指摘されていた、授業計画、評価計画の明示もシラバスに反映されていた。
- ・ インシデントの情報は、全教員実習施設側の責任者や各部署の指導者で共有され、再発防止対策が検討されている。

改善の意見提案

- ・ 今後のコロナの動向によっては、実習が予定どおり実施できないこともあり得るので、学生の臨床能力が向上できるよう工夫を重ねてほしい。
- ・ 臨地実習（実際に患者さんと接する現場）で目にしたこと、看護師から直接指導を受けたことの印象は強く「知識の定着につながる」との学生の意見が多く聞かれていたことから、体験談を提供するなど、実習が制限されている学生の不安を少しでも軽減する支援ができればいいと思う。
- ・ 教育目標や教育課程の学生への周知について、学生便覧に記載があるが、学生に理解されているのか少々疑問もある。入学時のオリエンテーションや進級時、実習前等に度々振りかえる場面（説明する機会）があってもよいと思う。

現状や改善の方策等

- ・ 臨地実習については、実習施設の協力をいただき、8/31より開始となった。受持ち患者との接触が制限されている領域もあるが、実際に看護を提供することを通して、深い学びができている。
- ・ 学習科目と教育目標との関連をどう明示するかは課題であり、新カリキュラム検討過程においては、カリキュラムマップの作成等により、科目間や教育目標との関連性を明確にしていく予定である。

(3) カテゴリーⅢ 入学・卒業対策

評価結果

自己評価の平均

4.47

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 学生と教員の関係が良好であり、担当制で学生を支援している環境は素晴らしい。
- ・ 進路決定率100%、国家試験合格率9年連続100%の実績は誇れるものだと思う。
- ・ 1年生の段階から就職ガイダンスを実施するなど、卒業後のキャリア形成に係る助言・指導等が適切に実施されており、最重要事項である看護師資格の取得（国家試験の合格率）についても、9年連続で100%を達成する等、公立の看護師養成所として、医療人材の確保に大きく貢献している。

改善の意見提案

- ・ 医療創生大学が平成29年4月に看護学部を設置する等、本市における看護師の育成環境等に変化が生じていること、また、少子化の進行に伴い、学生数が年々減少していくと想定されることから、引き続き、魅力ある学校づくりに努めるとともに、優秀な学生の確保に向け、入学生の選抜方法等について、随時検討いただきたい。
- ・ 国家試験を意識した効果的な授業を実施していくことや、学生へのサポート体制についてもっとアピールしたほうが良いと考える。

現状や改善の方策等

- ・ 国家試験の合格率、進路決定率の結果から、適正な入学・卒業対策がされていると考える。今年度は、推薦入試要件・定員の変更を行った。コロナ禍においてもweb学校見学会を実施し、学生確保の活動を継続し、好評な結果を得ている。
- ・ 教員のFD（Faculty Development）活動の支援がされており、わかりやすい授業設計に継続して取り組んでいる。
- ・ 国家試験の傾向も分析し、授業に反映させている。
- ・ 充実した実習環境・個別的な学習支援によって、国家試験の合格率が高いと考える。学習環境、学習支援が充実していることを継続して広報していきたい。

(4) カテゴリーⅣ 学生生活への支援

評価結果

自己評価の平均

4.46

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大が懸念されている中で、感染症予防や拡大防止策が徹底されている。学生・保護者の不安を少なくし、学習できる環境を整えるよう努力されている。
- ・ 例年、全学生を対象に個人面談を実施するとともに、成績不振者等には随時、面談を行い、個人の状況に合わせた適切な助言を行うなど、学生に寄り添った対応が取られている。
- ・ スクールカウンセラーによる面談を実施し、学生の精神的なケアを実施しているほか、新型コロナウイルス感染症への対応として、検温を実施するなど、学生の健康管理も十分に実施されている。

改善の意見提案

- ・ 今年は新型コロナウイルス感染症の問題があるので、より徹底した健康管理や感染症対策に取り組んで頂きたい。

現状や改善の方策等

- ・ 社会の状況に合わせ、医療センターの感染管理認定看護師の意見を伺いながら、感染防止対策や登校・臨時休校等の基準の見直しを随時行っている。
- ・ 学生への感染対策の徹底も継続し行っていく。

(5) カテゴリーV 管理運営・財政

評価結果

自己評価の平均

4.43

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 災害を想定して教員や学生の非常食が配備されており、保護者の安心にもつながる。
- ・ 学生自治会によるアンケート調査・学校教員との意見交換の実施により、学生の意見が学校運営に十分反映されている。
- ・ 毎年度、授業料等の未納はなく、予算についても適切に執行されているほか、令和2年度に開始された、新たな高等教育の修学支援制度についても、適切に運用がなされている。
- ・ 携帯メールへ一斉配信が可能な「グルリンシステム」の導入など、災害時の情報発信に対する工夫がされている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(6) カテゴリーVI 施設設備

評価結果

自己評価の平均

3.82

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 施設が老朽化している中で学生にとって少しでも快適なように努力されている。
- ・ 限られた予算の中で優先順位を決めて修繕・管理がなされている。
- ・ 不便な環境でも工夫することで改善しようとすることは、学生にとっても考える力がつき、良い経験になるのではないか。

改善の意見提案

- ・ 学生や保護者が入学を希望して訪れる際、環境を整えることを重視している学校であると感じることで、入学したいという思いが強くなると思われ優秀な学生の確保が期待できる。
- ・ 老朽化は年々進行するため、今後、社会情勢の変化を踏まえ、看護専門学校のあり方（学校の役割や機能等）を検討する中で、施設の維持管理や改修方針等についても、併せて検討していく必要があるものとする。
- ・ 購入予算が限られているので、病院で廃棄となるベッドやマットレスを学校で活用することを交渉できればと思う。
- ・ 水害が増えており、安全面からも雨漏り等の対策は早急に実施する必要がある。

現状や改善の方策等

- ・ 施設の維持管理や改修方針等については、看護専門学校のあり方（学校の役割や機能等）と併せて検討していく予定である。
- ・ 病院の廃棄ベッドについて、状態の良いものを当校のベッドと交換廃棄する方向で検討していきたい。
- ・ 雨漏りについて、建物の構造上修繕が難しい状態であるが、原因の特定に努め対応を検討する。

(7) カテゴリーⅦ 教職員の育成

評価結果

自己評価の平均

4.53

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 教員の実習担当部署が明確であり、実習前に研修が行われている。顔の見える関係が構築できるだけでなく問題点や課題が共有しやすい。
- ・ 毎年度、教員の研修に係る予算を確保し、適切に実施しており、看護研究（発表）も行われている。
- ・ 教員が他の教員の授業を自由に参観し、意見交換を行える場が設けられている等、学校内においても、教職員のスキルアップに向けた機会が設けられており、常に教職員の育成を意識した仕組み（制度）が確立されている。
- ・ 他校の状況がわかる学外短期教育研修や、臨床研修、その他の研修に積極的に参加している。

改善の意見提案

（特になし）

現状や改善の方策等

（特になし）

(8) カテゴリーⅧ 広報

評価結果

自己評価の平均
学校関係者評価の結果

4.64
適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ ホームページ、Facebook等で効果的に情報公開がされている。
- ・ 学校行事や学生生活をで紹介する一方、学生募集要領にQRコードを掲載し、Facebookへのアクセスを簡便にする等、機会を捉えた広報が実施されている。

改善の意見提案

- ・ 背景も含め明るい写真が多く掲載されるとさらに印象が良いのではないかと。卒業生の活躍状況が多く発信されるとより魅力的なものになると思う。
- ・ 今後の評価基準として、投稿件数だけでなく閲覧件数や「いいね！」の数を加えてはどうか。

現状や改善の方策等

- ・ 個人情報保護の観点から、あえて画素数の少ない写真としているが、背景も含めきれいな写真撮影に心がけ、登校時・休憩時間の様子なども含め掲載していきたい。
- ・ 卒業生が来校することもあるので、協力いただけるよう調整したい。
- ・ 閲覧件数、「いいね！」の数を加えることを検討する。

(9) カテゴリーⅨ 地域との連携

評価結果

自己評価の平均
学校関係者評価の結果

4.11
適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 地域活動として教員が行った美化活動がホームページで発信されており、地域への活動が伝わりやすいので良いと思う。
- ・ 新型コロナウイルス感染症により制約が多いと思うがオンラインを上手に活用し、地域との連携・協力を続けていきたい。
- ・ 御厩小学校の総合学習への協力や、田人中学校での出前講座の実施等、地域社会にも十分貢献されているものと考ええる。

改善の意見提案

- ・ 今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアや催しが中止となることが多いと思うが、状況をみてぜひ続けてもらいたい。

現状や改善の方策等

- ・ 新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、今年も夏休みに1年生7名がボランティアに参加した。感染への影響を考慮しながら活動を継続したいと考える。